

【4月号特集「多次元センシング技術とその産業応用」予告】

ゲストエディタ 奥田 晴久（三菱電機（株）先端技術総合研究所）

近年、さまざまな産業分野において、システムの高度化を目的としたセンシング技術の重要性が高まっており、なかでも光計測、画像デバイス、およびその情報処理技術からなる多次元センシング情報の利用に対して期待が高まっています（例えば、異種センサ情報、時空間的情報、コンテキスト情報、生体・心理的情報などの複合利用等）。

そこで、これらの要素技術の研究動向、産業応用動向をまとめ、将来展望を明確に示すことが学界・産業界にとって極めて重要であるとの考えから、D（産業応用）部門内の一般産業研究会では「多次元センシング情報の産業利用に関する調査専門委員会（略称：MDS委員会）」を構成し、2007年からの3年間に亘って年6回の調査委員会活動を行ってきました。また、D部門内の非整備環境におけるパターン認識技術の応用分野拡大協同研究委員会、C（電子・情報・システム）部門のスマートビジョン協同研究委員会協賛の下、年1回の研究会を開催してまいりました。

本特集号では、MDS委員会における3つのワーキンググループ活動成果を、①安心・安全分野、②生産システム分野、③メディア分野、の3篇の論文としてまとめています。また、セキュリティ、ITS、生産システム、ロボット、映像システム、情報メディア、通信、ネットワークなど広範な産業分野に利用できる多次元センシング技術に関する研究、および実用化に関わる技術に関して、研究会で発表された論文をベースにして加筆、再構成された投稿論文、広く一般からの投稿論文を厳密な査読を通じて厳選し、特集論文としてまとめて掲載いたしますので、当該分野にご興味をお持ちの読者の方のみならず、広く有用な特集論文としてご活用いただきたいと思います。

編集後記

春まだ浅い今日このごろですが、皆様いかがお過ごしでしょうか。今月は16日から3日間、大阪大学にて電気学会全国大会が開催されます。ご講演の準備、交通・宿泊の手配はお済みでしょうか。

さて、今月号には9月に沖縄で開催される産業応用部門大会の開催案内、4月～9月までの研究会開催計画を掲載しております。会員の皆様の積極的なご参加をお待ちしております。また、特集論文の論文募集・特集予告記事、調査専門委員会の公募記事、最近発行の電気学会技術報告リストを掲載しております。是非、ご一読ください。

巻頭言では、産業技術大学院大学の橋本洋志先生より、次世代産業システム技術委員会の活動について、ご紹介いただきました。

春まだ浅い今日このごろですが、皆様いかがお過ごしでしょうか。今月は

学界情報では、山口大学の平木英治先生より、2010年11月にアリゾナ州グレンデールで開催された国際会議IECON2010のご報告をいただきました。世界的にも、EV/PHEVをはじめとする次世代自動車関連技術等に注目が集まっている様子がうかがえます。

資料コーナーでは、(株)東芝の川合弘敏様より、エネルギー白書2010から再生可能エネルギーをめぐる諸情勢についてご紹介いただきました。再生可能エネルギーの概観、導入動向、国際動向についてご執筆いただきました。

最後になりましたが、本号作成において、ご多忙中にもかかわらず、各記事をご執筆いただいた皆様、ならびに編修作業に携わっていただいた皆様のご協力に、心から深く御礼申し上げます。

エディタ 服部 知美（静岡理科大学）

※ 本文中のE-mailアドレスをご利用になる場合には、“(at)”を“@”に置き換えて下さい。